

風力発電等の環境アセスメントと住民との合意形成に関する勉強会

日時：平成 26 年 3 月 8 日（土）

13：30～16：00

場所：札幌第一合同庁舎 2 階講堂

- ・参加率 81%

申込者	53名
参加者	43名

この参加者には当日申込者は含んでいない

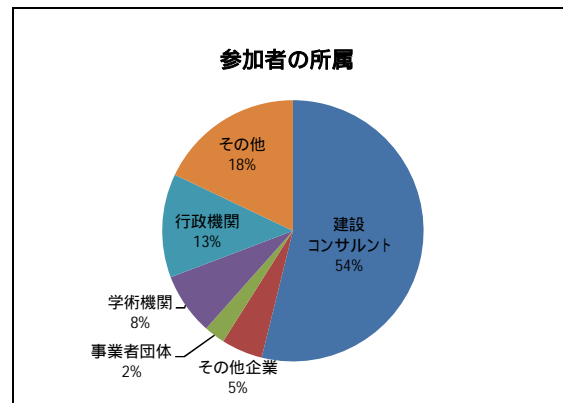
- ・アンケート回収率 80%

参加者数	51名
アンケート回収数	41件

- ・アンケート結果（参加者の属性、講演内容等）

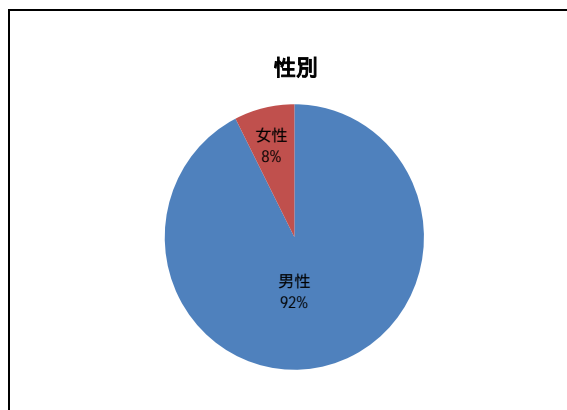
参加者の所属

項目	件数
建設コンサルタント	21
その他企業	2
事業者団体	1
NGO・NPO	0
学術機関	3
行政機関	5
その他	7



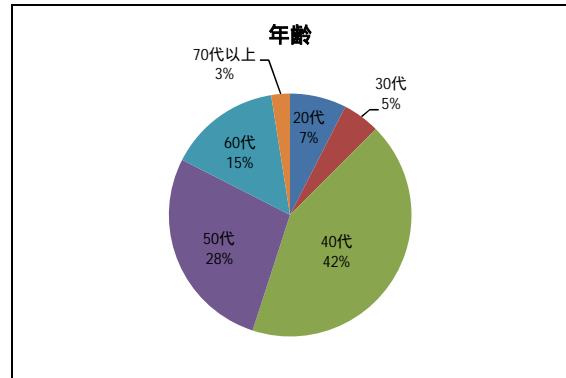
性別

項目	件数
男性	37
女性	3



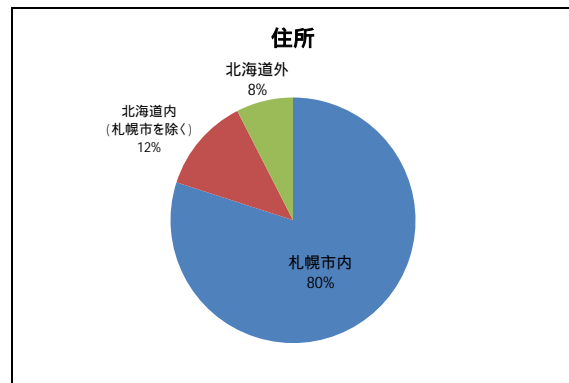
年齢

項目	件数
10代	0
20代	3
30代	2
40代	17
50代	11
60代	6
70代以上	1



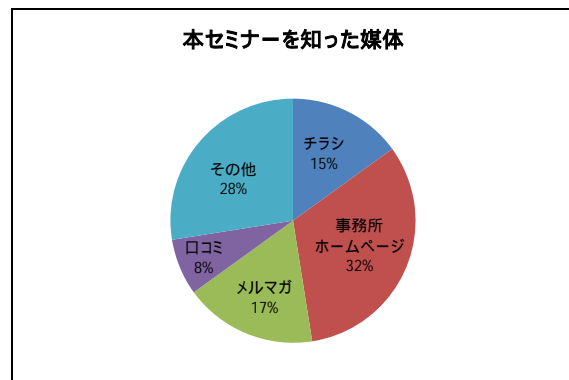
住所

項目	件数
札幌市内	32
北海道内（札幌市を除く）	5
北海道外	3



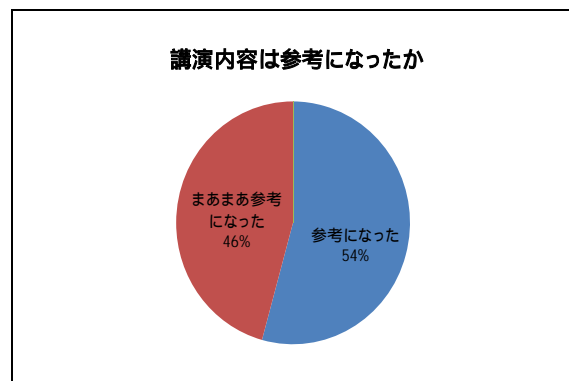
本セミナーを知った媒体

項目	件数
チラシ	6
事務所ホームページ	13
メルマガ	7
口コミ	3
その他	11



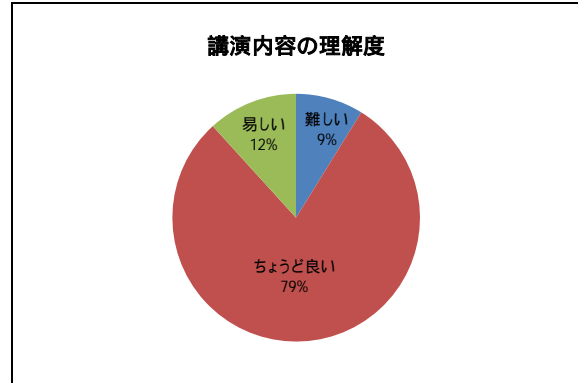
講演内容は参考になったか

項目	件数
参考になった	19
まあまあ参考になった	16
参考にならない	0



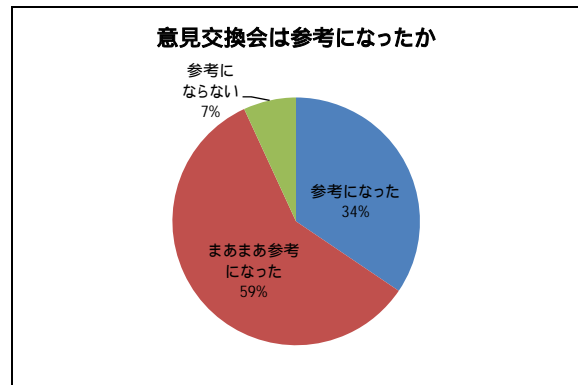
講演内容の理解度

項目	件数
難しい	3
ちょうど良い	27
易しい	4



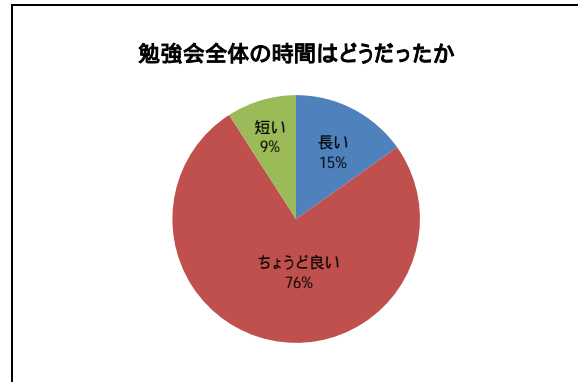
意見交換会は参考になったか

項目	件数
参考になった	10
まあまあ参考になった	17
参考にならない	2



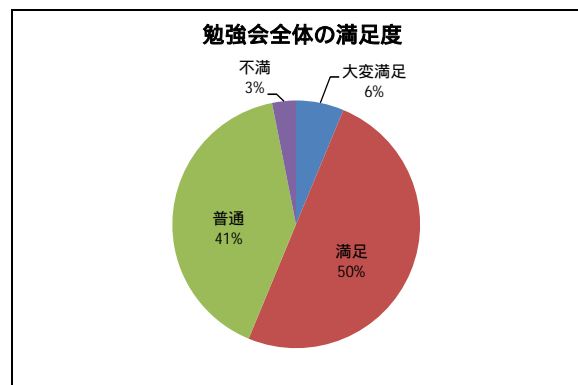
勉強会全体の時間はどうだったか

項目	件数
長い	5
ちょうど良い	25
短い	3



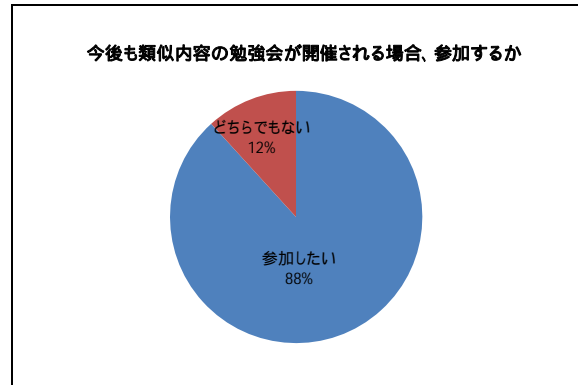
勉強会全体の満足度

項目	件数
大変満足	2
満足	16
普通	13
不満	1
大変不満	0



今後も類似内容の勉強会が開催される場合、参加するか

項目	件数
参加したい	30
どちらでもない	4
参加したくない	0



意見交換会も含み、本日の内容で印象に残った知見や意見

- ・ 合意形成に関する調査事例が少なく、研究等が模索状態であること。
- ・ 事業者の態度が成否に大きな影響があること。
- ・ シャドーフリッカーが騒音の認知に影響していること。
- ・ 紛争・苦情とメディア報道等の関係。
- ・ 立地困難度が高いと、市民参加の質を上げても環境紛争の回避には限界があること。
- ・ 苦情の発生状況。
- ・ 沿岸域では、波音による騒音のマスキングが起きること。
- ・ 簡易アセスの必要性。
- ・ 鳥の種類によって紛争が起こる確率が変化すること。
- ・ 立地困難度が低いことが、事業の実施には有利であること。

事業における合意形成において最も重要だと感じる事

- ・ 対話の結果として、計画修正（＝意見反映）をすること。
- ・ 事業者側と住民側が一つのテーブルを囲んで意見交換をすること。
- ・ 事業者の誠意。
- ・ 地元にとってのデメリットを踏まえた上で、本当に事業が必要かどうかを決定すること。
- ・ 政策による事業の後押し。
- ・ 不意誠実な事業者が多く説明を丁寧にしない印象を受けているので、事業者が住民の意見を徹底的に聞くこと。
- ・ 早めに情報を公表すること。
- ・ 対話の積み重ねによる信頼関係の構築。
- ・ ハードストライク対策における鳥類分布や行動に係る正確な情報の提示。そのための調査・情報収集、整理、公開。
- ・ 実影響の把握と環境保全措置の実施。
- ・ 情報開示と意見交換。
- ・ 風力発電施設（事業場）をコミュニティ施設及び津波の避難施設として位置づけること。
- ・ 事業の有効性を多面的な観点から説明すること。

事業の円滑な推進や合意形成に関する、環境省への要望

- ・ 事業者が信頼できる企業かどうかを判別できるような仕組み作り。
- ・ 説明会の開催時期に関する指導（平日の日中以外にも説明会を開催して欲しい）。
- ・ 情報発信（風車が環境に及ぼす影響、合意形成に関するケーススタディ、環境影響評価事例等）。
- ・ 適地マップの作成や簡易アセス制度の構築。
- ・ 勉強会やシンポジウムの開催。
- ・ 風車の改良の推進。
- ・ 国土全体の自然環境モニタリング。